

# 「道の駅」で地域の賑わい・安全な道路環境の創出

— 県内15か所の道の駅 —

## 従来は

### 第1ステージ (平成5年～)

○通過する道路利用者へのサービスが中心

### 第2ステージ (平成25年～)

○地域の個性・魅力を活かした様々な取組みが実施されるなど「道の駅」を活用した地域振興

## 近年は

### 第3ステージ (令和2年～)

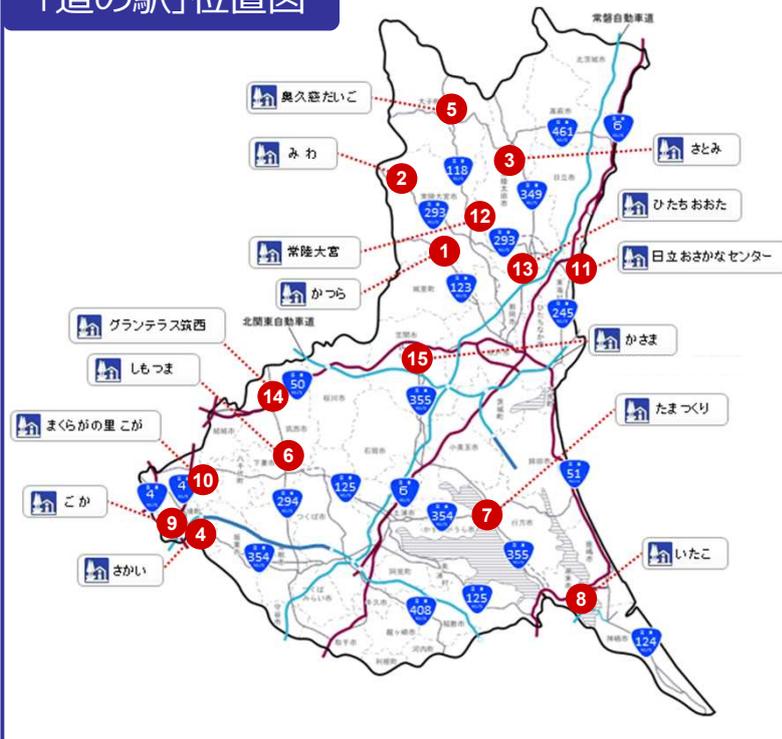
○観光や防災など更なる地方創生に向けた取組みを、官民の力を合わせて加速  
○多様な主体と連携し、地域経営の拠点として力を高め、新たな魅力を持つ地域づくりに貢献



## 「道の駅」の機能



## 「道の駅」位置図



## 県の支援

- 市町村の計画にあわせ、道路管理者として道の駅の「駐車場」や「トイレ」などを整備しています。
- 市町村の計画する道の駅が、より魅力ある、より良い施設になるよう、国、県（政策企画部・農林水産部・土木部等）などで構成する茨城県「道の駅」地方創生ワーキングチームを設置し、事例紹介などの支援を行っています。

## トピック

### 「かさま」

#### 県内15番目の「道の駅」オープン！

令和3年9月16日に、道の駅「かさま」が開業しました。

「笠間のゲートウェイ」をコンセプトに、笠間の栗専門のカフェ&ショップをはじめ、地元の食材を使用したメニューが揃うフードコート・レストラン、直売所などがあります。

施設内には、笠間焼の手洗いボウルや陶壁、稲田御影石のモニュメント、栗をモチーフにした車止めなど、笠間らしさがちりばめられています。さらに、シェアサイクルステーションやキャンピングカーサイトを備えるなど、市内の観光拠点にもなっています。



▲照明灯の柱は「笠間朱色」に統一されている

### 「奥久慈だいち」

#### 「防災道の駅」として選定！

令和3年6月11日に、全国39か所の道の駅が「防災道の駅」として初めて選ばれ、県内では、道の駅「奥久慈だいち」が選ばれました。

今後、国の支援を受けながら、県、大子町、道の駅が連携し、非常用発電設備の整備や災害時に業務を継続していくための計画の作成をすすめるなど、ハード・ソフト両面で防災機能の強化に取り組んでいきます。これらの取り組みにより、道の駅が、災害時に自衛隊や消防等の支援部隊の活動拠点などとして活用しやすくなります。



▲全国でも珍しい、県内唯一の温泉施設を備えた道の駅